

あいの



Vol. 45

令和3年4月発行



特集

歯科

(診療科紹介⑭)

お知らせ

就任医師紹介

「歯科」



藍野病院 歯科 の特徴

病院に併設の歯科として、外来受診の患者様や、入院中の患者様の口腔内トラブルについて歯科処置を行っております。いまのところ歯科での入院管理はしていません。

当院歯科の受診患者様では高齢・有病者の方が多くを占めております。その中でも循環器疾患により抗凝固療法や抗血栓療法をされている方（血をサラサラにする薬を服用している方）がいらっしゃいます。歯科治療により抜歯処置が必要な場合に自己判断にて服薬中止される方がいらっしゃいますが、最近の歯科治療ではこういった薬剤は服薬中止せず抜歯処置を行うことになっております。自己判断で服薬中止したことで、それまで発症を抑えられていた心筋梗塞や脳梗塞などを発症するリスクがあるため、こういった薬を服用されている場合には安易に中止するのではなく、まずは歯科受診をしてもらい服薬している薬について相談してください。当院歯科ではこうした方の歯科処置について医科歯科連携をとりながら歯科処置を進めております。

外来診療担当表

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	伊藤	伊藤	大森	伊藤	伊藤/木次	第1・3・5 鈴木 第2・4 今川
午後	伊藤	伊藤	大森	伊藤	伊藤	—

外来受付時間 午前 8:00～11:00 診察時間 午前 9:00～
12:00～ 午後 1:00～

現在、新型コロナウイルス感染予防の観点から外来通院患者様の歯科診療を午前に、入院患者様の歯科診療を午後からと時間を分けて行っております。（患者様の状態により例外はあります）歯科受診の患者様にはご不便をおかけしますがご理解ご協力のほどお願いいたします。



木次 沙知 伊藤 雄一



大森 実知



歯科衛生士

池田 由紀子 藤田 美幸 藤川 麻美

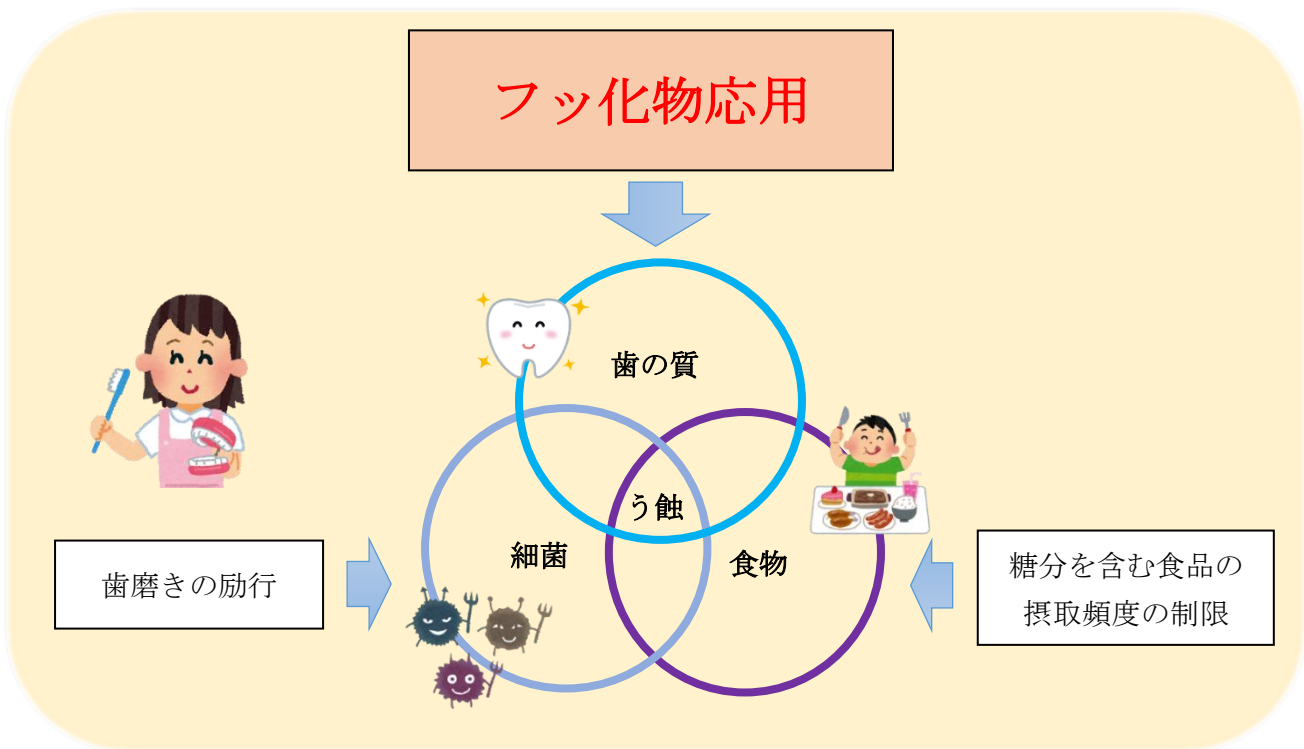
ここ最近のう蝕予防について

歯科で扱う口腔病変の多くは「う蝕」と「歯周病」です。う蝕に関して、ここ数年で大きく変わったことは、う蝕予防のためのフッ化物の積極的な応用です。

歯の表面では、歯に付着したプラーク中の細菌が作り出す酸により歯の表面からカルシウムやミネラルが溶け出る現象（脱灰）と、歯から溶け出したミネラルを再沈着させる修復現象（再石灰化）の繰り返し絶えず起こっています。この脱灰と再石灰化のバランスが脱灰に傾いたときに、う蝕が発生します。

う蝕の要因は「歯の質」「細菌（う蝕原因菌）」「食物（砂糖）」の3つにまとめることができ、それぞれに対応する形でう蝕予防は、「フッ化物応用」「歯磨きの励行」「糖分を含む食品の摂取頻度の制限」にまとめられます。

これまで行われてきた「歯磨きの励行」「糖分を含む食品の摂取頻度の制限」は正しく実施されれば、効果が期待できますが、これらの方法は個人の意識と努力にゆだねられる部分があり、予防方法として不十分な部分があります。一方で「フッ化物応用」によるう蝕の予防方法は、歯の再石灰化を促進し歯質のう蝕に対する抵抗性を高めることを目的とした方法で、フッ化物応用は簡便で個人の努力によらないう蝕予防として積極的に行われてきています。



最近では歯磨き剤へのフッ化物の添加も高濃度なものが出るようになってきました。それぞれのメーカーでも歯磨きのための歯磨き剤よりもフッ化物応用のための歯磨き剤という位置づけに変わってきており、TV などでも取り上げられるなどしています。歯科受診での歯磨き指導では歯磨きの技術についての指導もありますが、こういったフッ化物応用も一つの方法として指導しています。

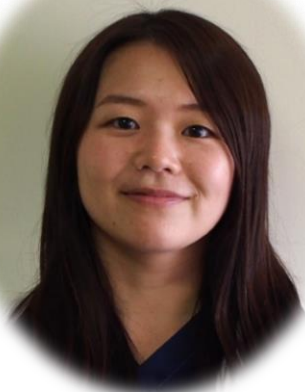
参考資料

eーヘルスネット>歯・口腔の健康>むし歯>むし歯の予防法（総論）

/ 厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト



就任医師紹介



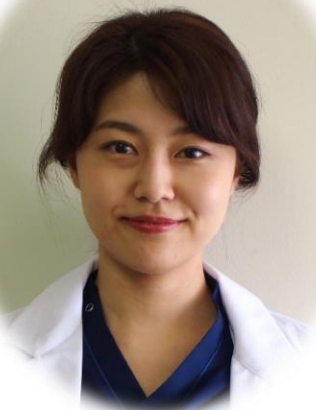
本年2月より藍野病院に入職しました日下部暢子と申します。大阪医科薬科大学リウマチ膠原病内科に所属しています。今までは、非常勤医師として2年間、藍野病院にお世話になっていましたが、この度、常勤医師として改めてお世話になります。藍野病院では、膠原病に限らず、様々な内科的な疾患をみて内科医として、経験を積みたいと考えています。ご迷惑をおかけすることも多いかとは思いますが、少しでも貢献できるように頑張りたいと思います。

くさかべ まさこ
日下部 暢子 (リウマチ・膠原病内科)



本年4月より入職致しました岡崎彩奈と申します。平成29年に大阪医科大学を卒業し、市中病院での初期研修を経てリウマチ・膠原病内科に入局いたしました。藍野病院では御高齢の患者様も非常にたくさん通院・入院されていらっしゃることもあり膠原病だけではなく様々な疾患をもつ患者様ひとり一人に寄り添った診療を心掛けていきたいと思っております。診療を通じて自分自身も成長できることを目標に精一杯頑張りますので何卒よろしくお願いたします。

おかざき あやな
岡崎 彩奈 (リウマチ・膠原病内科)



本年4月より入職しました中嶋素子と申します。平成30年に大阪医科大学を卒業し2年間大阪医科大学付属病院で研修した後、令和2年度に大阪医科大学付属病院糖尿病代謝・内分泌内科に入局いたしました。大学病院から出るのは初めてで新しい環境に不安もありますが多くのことを吸収し成長できるように頑張っていきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがどうぞよろしくお願いたします。

なかじま もとこ
中嶋 素子 (糖尿病・内分泌内科)

入院のご相談は「地域医療連携センター」まで TEL : 072-627-7611(代) FAX : 072-627-3627

発行：医療法人 恒昭会 藍野病院

ホームページ <http://www.koshokai.or.jp/aino>

メールアドレス aino-hp@koshokai.or.jp